

平成 30 年 11 月 2 日

市民文教委員会

市民部スポーツ振興課

東京 2020 オリンピック競技大会の事前合宿における ToBiO の活用について

1 趣旨

東京 2020 に向けては、ブラジルホストタウン推進浜松市民会議を立ち上げるなど、ブラジル選手団の応援体制を築いているところである。

こうした中、古橋廣之進記念浜松市総合水泳場 ToBiO（以下「ToBiO」。）は、全国有数の高度な機能性から、ブラジル以外の国からも受け入れ要請を受けている。本市は、ホストタウンとしてブラジルが利用することを第一に考えているため、ブラジルオリンピック委員会に対し「ToBiO を利用しないならば、他国に紹介したい」旨を問い合わせたところ、「水泳競技（競泳／飛び込み／アーティスティックスイミング）は、浜松で合宿を行わない」との回答があった。

これを受けて、ToBiO は自信を持って紹介できる大変良い水泳場であり、国によって制限を設けることなく利用いただくこととした。また、利用チームのホストタウンにはならないものの、今後、問い合わせがあった場合は、世界の練習場として利用調整を行う。

2 他国の要請状況

要請国	競技	方法	現在の状況
アメリカ	飛び込み	電話・視察・ダイビングコーチとの面会	
スイス	競泳	Eメール	富士市で決定
デンマーク	競泳	Eメール	
マレーシア	競泳	Eメール	
オーストラリア	飛び込み	視察	
アイルランド	競泳	袋井市からの要請	袋井市と調整中
ドイツ	飛び込み	Eメール・電話	